




報道発表資料の配付日時 1月19日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	「日本で一番、救助が早い海をつくる！」 ～羅臼町における海難救助要請システムの実証実験について～								
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者							
		発表場所							
概要	<p>道では、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した新たなビジネススタイルを促進する「北海道スタイル デジタルイノベーション プログラム事業」を実施しており、スタートアップ企業と市町村及び道内事業者を、道が募集・マッチングし、地域課題解決に向けた実証実験に取り組んでおります。この度、羅臼町において、次のとおり実証実験を実施します。</p> <p><b>■事業概要</b> スタートアップ企業と市町村及び地域の事業者を募集・マッチングし、地域課題解決のための実証実験を伴走支援により実施。実証実験の状況を広く発信することで、新たなビジネススタイルの普及を目指します。</p> <p><b>■今回の実証実験</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自治体 スタートアップ企業</th> <th>課題内容 提案内容</th> <th>実証実験の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>羅臼町 (株)よびもり (福岡県)</td> <td>船舶事故発生時の迅速な連絡手段の確保 事故発生時に位置情報を知らせる海難救助養成システム</td> <td>専用デバイスを活用した船舶事故発生時の救助ネットワークの確立</td> </tr> </tbody> </table> <p>【日時】令和5年1月23日(月) 12:00～15:00 (予定) 【場所】羅臼港及び沖合、羅臼漁業協同組合 【実験内容】落水事故に見立て「専用端末をくくりつけたブイ」を船から海に放流。事故発生直後から捜索担当船間でアプリに表示されるブイの現在位置を確認しながらブイの捜索を行う。</p>			自治体 スタートアップ企業	課題内容 提案内容	実証実験の概要	羅臼町 (株)よびもり (福岡県)	船舶事故発生時の迅速な連絡手段の確保 事故発生時に位置情報を知らせる海難救助養成システム	専用デバイスを活用した船舶事故発生時の救助ネットワークの確立
自治体 スタートアップ企業	課題内容 提案内容	実証実験の概要							
羅臼町 (株)よびもり (福岡県)	船舶事故発生時の迅速な連絡手段の確保 事故発生時に位置情報を知らせる海難救助養成システム	専用デバイスを活用した船舶事故発生時の救助ネットワークの確立							
参考	<p>下記特設サイトから、事業内容や採択事業をご覧ください。</p> <p><b>■特設サイト</b> <a href="https://newhokkaidostyle.jp/dip">https://newhokkaidostyle.jp/dip</a> </p>								

報道(取材)に当たってのお願い	<p>知床遊覧船事故をはじめとする海難救助における安全対策の実証実験となりますので、積極的な取材や報道をお願いします。</p> <p>なお、取材希望者は、1月20日(金)15:00までに下記スタートアップ担当まで事前にお申し込みください。また、当日は11:30に羅臼漁業協同組合にお集まりください。</p> <p>(※当日の天候次第で翌日に延期または陸上実験となる場合があります。また、実験船への乗船人数には限りがありますのでご了承ください。)</p>
他のクラブとの関係	同時配付 根室振興局

担当(連絡先)	<p>経済部 産業振興局 産業振興課 スタートアップ担当 (七田・荒木) TEL ダイヤルイン 011-204-5336 内線 26-805 根室振興局 産業振興部 商工労働観光課 担当 (中西) TEL ダイヤルイン 0153-23-6829 内線 2421</p>
---------	--